

「地域の中核、世界の人材」 U N I V E R S I T Y O F Y A M A N A S H I

山梨大学広報[ヴァイン]

March 2008 vol.4

Vine

成果が実感できる 学習を目指して

—全学共通教育のこれからとGPA制度の導入—

[人物発掘]

鈴木猛康教授

(大学院医学工学総合研究部 工学学域 物質工学系)

[びっくあっぷレッスン]

生化学 2

ものづくり実習

サークル紹介/クローズアップびーふる/気になるお店



成果が実感できる学習を目指して

—全学共通教育のこれからとGPA制度の導入—

大学教育研究開発センター
教授 日永龍彦

全学共通教育が目指すもの これからの世界と地域を創り支える 市民を育てる

山梨大学では
2007年4月からリ
ベラルアーツ教
育の充実のため

に全学共通教育科目を新たに導入しました。

21世紀は経済や社会がグローバル化し科学技術がいつそう進展する激しい変化の時代です。同時に、地球温暖化の問題が深刻さを増し、人類が地球環境を保つことができるか、今の文明を今後も持続できるかどうか試される時代でもあります。山梨大学の在学生諸君も、またこれから本学に入ってこようとする皆さんも、大学卒業後どのような道に進むにしても、社会に出て実際に時代の荒波を自ら越えていかなければならないのです。

山梨大学が掲げる「豊かな教養と専門知識・技術を備え、倫理性、独創性に富み、自主独立の精神を尊ぶ人材を育成する」(山梨大学学則1条)という使命と、「市民としての倫理性と自律性を身に付け、専門性をもって、国際社会で活躍できる人材」(山梨大学憲章)を養成するという目標は、まさにこれからの大変な時代を生き抜くために必要な教育を目指していると言えるでしょう。しかし、これらを実現するためには、各学部教育による専門的な知識や技術の修得だけでは不十分です。その基盤となる「豊かな教養」「市民としての倫理性」「自主独立の精神や自律性」を養う教育の充実が不可欠なのです。この要請に応えるために、私たちは全学共通教育を通じて「これからの世界と地域を創り支える市民」を育てることを目指しています。

学習の主役は皆さんです 自ら成長する梨大生へ 教員は「学習活動の促進者」

社会が急激に変
化していくというこ
とは、大学で学んだ知
識や技能がすぐに役

に立たなくなってしまう可能性があるということの意味です。また、これまでの解決方法では対処しきれない問題が発生してくるということも考えられます。大学在学中が最後の学習の期間なのではなく、むしろ卒業後も自ら主体的に学習して



成長することができるよう大学在学中に準備しておくことが必要なのです。全学共通教育は、梨大生の一人ひとりが

- ・豊かな人間性を備えた自己を確立すること
- ・人類の知の遺産を継承する主体であるという意識を持つこと
- ・生涯にわたって学び続けること

ができるようになることを目指します。全学部の教員で授業を担当し、教員が従来の一方的な「知識の伝達者(インストラクタ)」としてではなく、自ら成長していく梨大生の学習を後押しする「学習活動の促進者(ファシリテータ)」として授業を展開していきます。

授業は決して「楽勝」ではありません。答えが1つしかない問題を考えていくような単純な授業でもありません。ただ漫然と講義を聴いているだけだったり、欠席ばかりして期末試験の直前だけがんばるだけだったり、というのではなく、卒業後自ら成長できるような姿勢を身に付けましょう。

学習の主役である皆さんが授業に主体的に関わることができるかどうか鍵になります。

何を身につけるのか? 「ちえ」「わざ」「こころ」が 梨大生のマスト・アイテム

学生一人ひとりが社会の急激な変化にも対応し得る知識や思考力、表現力、コミュニケーション能力

などを身に付け、市民としての倫理感・責任感を保持し、時代の変化に合わせて社会を支え、また新しい社会へと改善していく意欲・能力を身に付けることができるよう、カリキュラムの充実に努めていきます。全学共通教育では、科目間の連携を図りながら、以下の3つの領域に示される学習の成果が身に付くような授業を展開していきます。

(1) 知識と視野…「ちえ」を磨く

生涯にわたって自ら学び続けるための基礎的知識と思考法を身に付け、歴史・古典に学び芸術に親しみ、また国際化や科学技術の進展に関する様々な知識を吸収して視野を広げることによって、物ごとを多角的・総合的に捉え





る力を養います。

(2) 能力と技能…「わざ」を磨く

自主的に物ごとを見つめ、様々な事象の中から現代の課題を発見し、探求し解決していく能力を育てます。そのために、順序立てて物ごとを捉え、考えや行動を反省し調整し、物ごとの意味や価値を問い直す批判的思考力を磨いていきます。そのようにして得られた自己の主張を、母語や外国語ならびに他のさまざまな手段で表現するだけでなく、他者の主張との調整を図り、効果的に意思の疎通を行う能力を育てます。

(3) 人間性と倫理性…「こころ」を磨く

21世紀の社会に求められる共生・共存の視点に立って、人間としての在り方や生き方を考え、身体と心のバランスをとり、全人格的な発展を心がける、自立した個の確立を促します。また同時に、多様な生き方・文化・価値観を理解し、他者との相互理解に努め、社会の一員としての責任を果たす力を培います。

所属する学部は違っても、「ちえ」「わざ」「こころ」こそ梨大生共通のマスト・アイテムなのです。



ができるようになる」というように具体的に記述していきます。また、GPA(グレード・ポイント・アベレージ)制度を導入して、学習の成果を実感できるようにしていきます。

GPAとは[別表]のように、各授業科目の成績を4点～0点のGP(グレード・ポイント)に換算して合計したものを履修した科目(不合格になった科目も含みます)の単位数で割った値のことを言います。大学の授業方法というのは講義、演習、実験・実習とさまざまで、教室で同じ時間(例えば90分の授業を15回)学習しても、そこで与えられる単位数は異なっています。そのため、これまでの成績通知書や成績証明書では、それがいい成績なのかどうか判断に迷うことがありました。しかし、GPAを算出することによって、履修した科目1単位あたりの成績を客観的に見ることができるようになります。

このGPAを1学期間に履修した科目について算出(学期GPA)したり、入学から現在までに履修した科目について算出(通算GPA)したりすることで、自分のがんばり具合を確認できますし、たとえば、(1)知識と視野、(2)能力と技能、(3)人間性と倫理性それぞれの領域に関連する授業科目についてだけGPAを算出してみれば、どの領域でどの程度学びの成果を

あげられているか振り返ることもできます。

学習の目標を意識し、その成果を客観的につかんでこれからの自分に必要な学習は何かを探る。全学共通教育の各科目の履修を通じてこのような経験を積むことで自ら学び成長できることを実感してください。

<注>シラバスとは、授業の担当教員名、講義の目的、概要、毎回の授業内容、成績の評価方法、教科書や参考文献、履修上の必要な要件等を各時限ごとに詳細に示した授業計画のこと。



身に付いたものを 実感するために

シラバスの充実とGPA制度の導入

授業を通して「ちえ」「わざ」「こころ」を身に付けるには、その授業が何を狙っているのか学習する側が十分理解した上で主体的に参加する必要があります。そのため、2008年度のシラバス<注>から、授業の目標を(1)知識と視野、(2)能力と技能、(3)人間性と倫理性という学習成果の3領域に区分して、「○○

授業を通して「ちえ」「わざ」「こころ」を身に付けるには、その授業が何を狙っているのか学習する側が十分理解した上で主体的に参加する必要があります。そのため、2008年度のシラバス<注>から、授業の目標を(1)知識と視野、(2)能力と技能、(3)人間性と倫理性という学習成果の3領域に区分して、「○○



山梨大学電子シラバスは下記からご覧いただけます。

<http://syllabus.yamanashi.ac.jp/>

[別表] 成績評価とGPの対応

	評定	点数	GP
(1)	S	90~100	4
(2)	A	80~89	3
(3)	B	70~79	2
(4)	C	60~69	1
(5)	D	0~59・未受験	0

人物 発掘

Takeyasu Suzuki

鈴木猛康教授

(大学院医学工学総合研究部工学学域物質工学系)



直径5メートルの共同溝を掘るのに1mあたり2〜3百万円もかかるようなトンネル工事に関係しているかと思えば、家族のために料理を作っている時が好きという鈴木教授にお話を伺いました。



料理はいつ頃から始めたのですか

10年くらい前になります。でも、週末だけです。土曜日に食材を調達して日曜日に作るってペースです。男性の料理はお金がかかると言われますが、スーパーで旬の魚や野菜など値段を見ながら調達したり一般的な調味料を組み合わせ使ったりしていますから、それほど高くはありません。魚をさばいて鯖の味噌煮とか、手近な食材でホイコーローとか、ごく普通のお惣菜をよく作ります。

もともと食べ歩きが好きで、調査研究に赴いた地で美味しい料理や店を見つけるのが楽しい。おすすめは福岡市天神の屋台です。博多といえば、中州と言われますが、中州は観光客用ですのお勧めできません。地元の人が通う天神が良いですね。他には、広島で地元の方に教えてもらったすき焼きのお店が良い感じです。

高校時代に戻りたいと言ったことはありませんか

無いですね。今の方が面白い。私は自治体の防災体制や災害情報の共有プラット

ホームなどについて研究をしている関係で日本各地に行くのですが、1ヶ月で名刺が200枚位必要なくらいたくさんの人にお会いします。いろんな人たちと知り合せて、いろんなお話が聞け、これが楽しいのです。

免震トンネルは先生の研究成果と聞きました

そうです。学位論文で理論を考え、材料・施工方法の開発・現場適用まですべて関わり合いました。楽しかったですよ。自分の考えが反映されるのですから。こうなって、こうなるって考えたとおりにトンネルが出来上がるのがとても楽しかった。ただ、この工法は通常のものより1mあたり50〜60万円割高になってしまいますから、重要な部分に使うようにしないと大きな費用がかかってしまいます。もう少し安くなると良いのですが。

研究は順風でしたか

そうでもないですよ。会社に入ったとき、ゆくゆくは現場の所長になって山岳トンネルを自分で掘ってみたという希望持っていたのですが、入社してまもなく「大学に行って地盤の動的現象を研究してこい」と上司から命

ストーリーを
イメージできれば
勉強は楽しくなる

【略歴】

- 1980年3月 埼玉大学理工学部建築基礎工学科卒業(工学士)
1982年3月 東京大学大学院工学系研究科修士(工学修士)
同 4月 株式会社熊谷組 技術研究所
1991年2月 博士号(工学)取得(東京大学)
2001年1月 中央復権コンサルタンツ株式会社
2004年7月 独立行政法人防災科学技術研究所
2007年6月 東京大学生産技術研究所(特任教授)
2007年8月 山梨大学教授

【専門分野】

防災工学、地震工学、自治体の防災、災害情報

【研究テーマ】

<ソフト防災の研究>

- ・地方自治体の災害対応管理体制
- ・災害情報共有プラットフォームの構築とICTの防災への適用
- ・災害医療の向上・災害時広域連携体制
- ・地方自治体および企業のBCM戦略、など
- <ハード防災の研究>
- ・建造物の合理的な耐震設計法
- ・建造物の免震、制震、減震・地盤震動、など

【編著書】

- 「地震動のローカルサイトエフェクト—事例・理論そして応用」(土木学会)(2005年)
「減震・免震・制震設計法ガイドライン」(土木学会)(2002年)
「地下建造物の免震設計法ガイドライン(案)」((財)土木研究センター)(1998年)
「写真と図で学ぶ地盤と地震震害」(山海堂)(1996年)

令されました。目の前が真っ暗になりましたよ。入社後7年間で5年間は大学にいました。大学で研究している時「友人たちは現場でお金を稼いでいる。俺も早く現場に出て稼ぎたい」と思っていました。

何故そんなに現場に出たいのかと言いますと、当時は300億円くらいのお金を現場の所長の判断で使えたのです。やりがいのある仕事だと思っていました。そう思っている私に「研究室に行け」ですから落ち込みました。でも、研究をして行くにつれこちらの方面が楽しくなりました。

大学に就職することになったきっかけは

地震工学では災害時の被害調査が研究の対象になりますが、自治体職員やライフライン事業者の必死の災害対応をインタビューするうちに「防災」に興味を持ち始めました。このようなときに防災科学技術研究所に転職することとなりました。これが、地震工学から防災研究者への大きな転身でした。

この転職で、私は国家プロジェクトを任せられることとなり「ソフト防災」の世界に自分の求めていた居場所を見つけました。山梨大学では、ソフト防災とハード防災の両方の研究ができるということでしたので、この適任者は私以外にはいないと思いました。

トンネルは崩れないのですか

トンネルは他の建物よりも安全だと思っています。円の形で掘って行きますので各方面からの力が円周に沿って分散されます。ですから、崩れることはありません。ただ、他の物で出入りが塞がれると困ってしまいます。

地下街とトンネルを同じにしないでください。全く別の物です。地下鉄や地下鉄の駅はトンネルですが、地下街は建物の一部と



考えてもらったほうが良いと思います。

いままでに「やったー」と思ったことは何ですか

2006年10月に、新潟県見附市で大規模な災害時情報共有に関する実証実験を実施しました。3年間のプロジェクトの総仕上げだったのですが、20を超える関係機関との共同実験で、実験の前日までちゃんとしたりハーサルができない状況でした。マスコミの取材クルーが陣取っているし、中央省庁とのホットラインも作ってしまった。こんな中で、最高責任者として実験を成功させたときが、一番大きな「やったー!」でしょうね。

高校生や大学生に一言

高校生は物理や数学が嫌いだという人が多いようですが、最初から出来ないと決めているような気がします。方程式が解らないから嫌いだとか言われていますが、私だっている方程式が出てくると嫌です。このようなところから理科に入るからいけないのです。苦手意識を持つ人が多い物理なども、実は身近な現象について始まりと終わりの間を読み解くものです。ここがこうなってあある、というストーリーがイメージできなくなって嫌になってしまうのだと思います。物理にしても化学にしても理科にはストーリーがあるのに、それを知らなくていきなり方程式が目に入ると嫌になるのも解ります。これを読んでいただいている人には、ストーリーから入ってほしいですね。そして、理系文系と自分を決め付けず、いろいろな意味で冒険をして自分の幅を広げてほしいと思います。

大学生には「自分で物事を考えろ」って言いたいですね。学生たちは結果を知ることばかりにこだわり過ぎている気がします。大学は結果に行き着くところではなく、どうしたいのか、何をやるのか、どうやって行くのかストーリーを探るところだと思っています。高校までは、結果があつてそれに早く行き着くことが大事かもしれませんが、大学は、研究の場でもあります。研究はこれで終わりという結果はありません。奥が深いのですよ。

【ホームページ】<http://civil.cec.yamanashi.ac.jp/~takeyasu/>

Takeyasu Suzuki

生化学2



三井先生



[担当教員]

医学部生化学第二教室教授 **猪原直弘先生**
医学部生化学第二教室准教授 **三井和浩先生**
医学部生化学第二教室助教 **望月光由先生**

【学習目標】

生体内に見られる膨大な化学反応を系統付けて理解すると同時に相互の関連を理解し、生命現象を把握できるようにすること。

生化学は生命現象を科学的な側面から学ぶ学問。生化学2では、前期で学んだ生命現象の担い手である蛋白質の構造と諸性質、エネルギー代謝系の機能、核酸、蛋白質の生合成をもとに、後期は、核酸・蛋白質の生合成を中心とする遺伝情報発現系の機構を系統的に学び、その後細胞周期、老化など重要テーマを系統的に学びます。

受講生・伊藤 紫さんに聞きました。

生化学は、医学科の2年で学ぶ基礎医学の中の一教科で、生理学、解剖学等と共に正常な人体の構造、機能、特徴などを学ぶ為の重要な学問です。生化学はその名の通り、簡単に言えば生命、特に人体の中の化学に関する学問で、そのせいもあってか皆さんが良く耳にする言葉もちらほら出てきます。例えば、「コラーゲン」や「ビタミンC」。この名前は最近の美容ブームもあって、よく耳にしますよね?特に女性のなかにはサプリメントを買って積極的に摂取している人もいるかもしれません。この2つの物質、肌に良いと言われていますが、実際にどのような理由で良いといわれているのか知っていますか?

身体を作っている組織には、神経や筋肉、これらを支える結合組織などがあります。コラーゲンは、この結合組織を作っている材料のひとつで、肌の張力、すなわち強さに関係しています。したがって体内のコラーゲンが少なくなってしまうと、肌が弱くなってしまいます。また、ビタミンCは、安定なコラーゲンを作るのに必要な物質で、ビタミンCが足りないと安定なコラーゲンができず、肌の強度が低下してしまいます。ビタミンC欠乏は更に血管壁の強度低下も引き起こし、出血などの症状も出てきます。ちなみにこの疾患は壊血病と呼ばれ、週刊少年ジャンプの漫画、ワンピースにも出てきます(笑)

このようにビタミンCやコラーゲンは肌の張力を保つのに重要な役割を担っています。肌の張りは重要ですね?このような理由で肌に良いとされています。でも実際にはコラーゲンは体内でアミノ酸に分解されてしまうため、経口で摂取しても効果は見込めないようです...

他に生化学では生命の起源についても学びます。例えば「原始スープ」。原始スープというのは、火山の熱や雷が大気中のガスに作用してできた有機化合物が原始の海に溶け込んだ結果生まれた、有機物に富んだスープのことです。オパーリンというロシアの植物学者によると、そのスープから生命が発生し、別の成分でその生命の食物が作られたそうです。生化学は深いです。

この生化学の授業を受け持って下さっているのは三井先生と望月先生。先生方は、分からないことがあればいつでも質問に答えてくださいます。授業中にも質問がちらほらと飛び、授業中に聞けなかった事は授業の

合間に聞くことができます。先生が質問を好意的に受け止めてくださるので、わからないことをそのまま放置することなく、疑問の残らない授業を受けることができるのです。



授業中でも丁寧に質問に答えてくれる



【授業の概要】

- ◎「ものづくり」をカラダで感じる
- ◎機械工作法・工作機械の操作を理解し加工できる能力を身に付ける

近年、「ものづくり」が見直されていますが、機械システム工学科デザインコースでは、機械系技術者を指すものにとって最も基本的かつ重要な科目の一つである機械加工実習を、2年次の学生を対象に工学部附属ものづくり教育実践センターにおいて行っています。

実習は、旋盤、フライス盤、穴あけ加工、切断加工、溶接、磨き、レーザー加工、マシニングセンタ、研削盤、鋳造、鍛造等をいくつかのグループに分かれて行うもので、日本の産業の礎となる技術について触れることができます。

他大学に無いような鍛造実習まであり、機械系のものづくりに必要な加工を一通り体験できるプログラムになっています。

実習終了後は、実習完了報告書を作成することで内容を復習し、加工の原理を“学び”“体験する”ことができます。

受講生・田中美紗さんに聞きました。

製図を描く中で、製品をより少ない工程で短期間に、製作しやすい製図が描けているかどうか重要な課題の1つです。

そのため、多くの加工方法とその段取りを知っていなければなりません。この講義では、先生方の的確な説明と指導により、短期間でも多くの加工方法を知り、体験することができます。実習後には、実習を振り返って自分の言葉で加工過程等を書く課題を課せられるため、理解がより深まり、表現力も鍛えられます。

受講生・上野真史さんに聞きました。

私は、ものづくり実習を通して座学だけではなかなか学ぶことのできない「ものづくりの基礎」を学ぶことができました。

一般的に基礎というと、数値計算による強度計算などを考えることを指す場合が多いと思いますが、私は、作業者の立場

になって設計・製図することも『基礎』だと考えています。このことを、実習では様々な部門を通して自ら作業を経験することで学ぶことができました。

この実習での経験は、普段の授業ではもちろんですが、社会に出てからも活かされるはずです。



甲府
Campus

創作ダンス部



ステージ発表



デモンストレーションin甲府キャンパス

創作ダンスには

「自由」が

よく似合う

こんにちは、創作ダンス部です。4年前、3人ではじめた創作ダンス部も、現在、部員は10人に増え、やっと部活らしくなってきました。

年間の主な活動としては、山梨県大学ダンスフォーラム、日本教育大学協会全国創作舞踊研究発表会への参加、アーティストック・ムーヴメントinTOYAMAそして学園祭でのステージ発表があり、これらの公演や大会に向けて日々作品づくりに励んでいます。

「創作ダンスって、どんなダンス？」とよく聞かれます。これは、とても難しい質問で、「これが創作ダンス」といえる確かな定義やダンスはありません。だからこそ私たちの部活には、ダンス経験の有無は全く関係ないのです。部員の半分はクラシックバレエや新体操といったダンスの経験者ですが、半分は全くのダンス初心者です。

1つの作品をつくるにあたって、たくさんの過程があります。何を表現したいか、何を観ている人たちに伝えたいかといったテーマ決めから始まり、曲を選び、動きを考えます。この動きを作り出すのはとても面白い過程でもあり、その反面大変な過程でもあります。創作ダンスには、「自由」という言葉がよく似合います。「寝転ぶ」という動きや、「動かない」という動きも、その動きに意味があれば、それは立派な作品の動きの1つになります。

その他にも、衣装を考えたり、照明を考えたりしてやっと「作品が出来た」という過程に到達します。創作ダンスは、身体で踊るだけでなく、心で踊る部分もとても大きいので、作品に完成、完璧といった終わりではなく、常により良いより素晴らしいより高みを目指した作品を追求し続けます。1つの作品をつくるのも踊るのも大変ですが、その分、踊り終わった後の達成感はとても大きいのです。

大学に入って、

**何か新しいことに
挑戦してみませんか？
踊ることの楽しさを**

たくさんの人に知ってもらいたい!!

と私たちは考えています。興味を持った方は、ぜひ創作ダンス部を訪ねてください。



ステージ発表

はじめまして、「サニースマイル」です。サニースマイルは山梨大学医学部附属病院3階西病棟の小児科で、入院している子どもたちの療養生活を支えながら活動をしているボランティアサークルです。「サニースマイル」という名前は、活動場所である“3階西”に由来しています。現在は医学部と教育人間科学部のメンバーで活動していて、発足してまだ1年半と若いサークルですが、みんな和気あいあいと仲良くやっています。

サニースマイルの主な活動は、毎週火、木、金の夜7時から9時まで小児科病棟に入院している子どもたちの相手になって遊ぶこと。元気に動ける子どもやベッドから出られない子どもたちを相手に、トランプ・パズル・折り紙をしたり本の読み聞かせなど、自分たちも楽しみながら遊び、子どもたちの就寝時間が近づいたらベッドに寝かせつけています。子どもたちがエプロン姿の僕たちを見て嬉しそうな顔を見せてくれると、自然とこちらも笑顔になり、子どもたちから元気をもらえて活動してよかったなと実感します。

サニースマイルは、普段の病棟での活動以外にも兄弟サポート、農業企画、医学祭での出展、そして病院イベントのお手伝いを行なっています。

兄弟サポートとは、入院している子どものご家族が面会に来たときに、ご両親が病室にいる間その兄弟を預かって一緒に遊ぶというものです。ご両親の希望を聞いて日程を決めるため不定期ですが、とても喜ばれています。

農業企画は、病院の裏庭に借りた2畳程度の土地に植物や野菜を育てるというもので、去年はゴーヤ、キュウリ、トマト、朝顔、オクラを育てて、初めてながらもキュウリやゴーヤに大きな実がなったときは飛び上がるほど嬉しかったです。農作業中、入院患者さんから声をかけていただいて、作業の指導を受けたり「お疲れ様」と言われたりして、想像以上に多くの方が気にかけてくださっていることが実感できました。

また、病院イベントのお手伝いとして夏の“花火大会”と冬の“クリスマス会”に参加しています。花火大会では、子どもたちと一緒に模擬店を回ったりお店を運営したりして、暗くなったらみんなで花火をします。最後に迫力満点の打ち上げ花火もあります。また、小児科病棟でのクリスマス会では、司会進行と出し物をやっています。サニースマイルの他にも甲府キャンパスの“こども図書室”の方々や他のボランティア団体が参加して一緒にクリスマス会を盛り上げます。去年はハンドベルでの演奏と仮装して踊りを披露しました。

このように普段の活動以外にも活動がたくさんあり、病気と戦っている子どもたちに楽しんでもらって笑顔を増やすことができるだけでなく、自分たち自身も楽しめるものばかりです。また、病棟ではサニースマイル以外にも2つのボランティア団体が以前から活動していて、まだ経験の浅い僕たちも、活動日が重なった日や1、2ヶ月に1度行なう勉強会で子どもへの接し方、ご両親への対応、ボランティアのあり方などを学んだり、アドバイスをもらうことでより充実した活動になるようにしています。

活動を始めてから日が浅いので知らない人がまだまだ多いと思いますが、活動に興味がある人はぜひ一度参加してみてください。

入院している子どもたちのための活動をしているボランティアサークル

サニースマイル



病院の花火大会終了後にみんなで

子どもたちから
元気をもらえる！



笑顔には
笑顔で
返ってくる



夏の花火大会

医学部
Campus

サークル紹介

Close-up クローズアップびーふる People



国語教育専修3年次の仲良さ5人組のおしゃべりに潜入。仲間との思い出や勉強していることについて熱く語っていただきました。



Close-up People どんな仲間ですか？

国語教育3年女子の仲良ささんです。
国教'Sと命名しました(笑)。

Close-up People 知り合ったきっかけは？

2005年に国教に入学してからの付き合いです。入学以来、いつも一緒です。講義の時には、いつも無意識に5人分の席を探しています。

Close-up People いつもどこに集まりますか？

国教の控え室。行けば、たいてい誰かいます。

Close-up People ちなみに、他の国教の仲間は？

同じ学年には、男子が2人います。ただし、男子は人数が少ないので、私たちの学年は女の花園です！

Close-up People この仲間との一番の思い出はなんですか？

毎年、恒例になった夏の旅行です。

1年生の時は、ディズニーランドとディズニーシーに行きました。さすが、夢の国。みんなでミッキーの耳つけて遊びました。夜のゴンドラがすごくきれいで、案内のお兄さんがかっこよかったです。でも、まだまだごちない感じだったので、ホテルでもすぐ寝ちゃいました。

2年生の時は豪華に京都。旅行の楽しみ、深夜のトークでは恋バナで爆弾投下(笑)。夜中まではしゃいでました。5人で舞妓さんになったりしました。しかも、5人で行ったのに、何故か途中で1人

旅。それぞれ好きなどろに行き夜に報告会をしました。

3年生の時は、東京へ。サンシャインの水族館で魚と人をたくさん見て、ナンジャタウンで餃子とアイスをおなか一杯食べました。夜は汗だくになりながら、もんじゃ焼き。ホテルが永田町で、なんと国会議事堂のすぐとなりでした。大江戸温泉にも行って、なんだかすごい盆踊りに遭遇したんです！「スーパー盆踊り」なんて名前だった気がします。どきどきしながら占い師さんに将来を見てもらったりもしました。

Close-up People 大学生活ではどんなことが印象に残っていますか？

やっぱり教育実習です。子どもたちはとっても元気で、小学生はかわいいし、中学生の下ネタにちょっと困ったりもしました。それと、子どもたちは恋の話が気になるらしく、「結婚(!?)してるの?」なんて聞かれちゃった人もいます。運動会や学園祭なども一緒に出来て良い経験になりました。手紙や似顔絵をもらった時は、感動したり、百羽鶴を最終日の朝もらって、一日中泣いてました。苦労したことは、指導案や教材作りです。実習では、現役の先生に比べたら自分なんてまだまだだと気づかされたし、逆に、自分のいいところやアピールできる場所を発見することができました。3週間で得たことの1つはきっと「度胸がついたこと」。3週間精一杯がんばったら、何だって出来そうな気がします！

Close-up People 今はどんなことを勉強していますか？

それぞれ指導教員に付いて、専門を勉強しています。

一人は、日本語について勉強しています。

一人は、和漢朗詠集などの漢詩について調べています。

一人は、宮沢賢治の『注文の多い料理店』をもとにして、文学教育について勉強しています。

一人は、子どもの想像力の発達について、言葉から勉強しています。

一人は、平家物語の敦盛を調べています。

こんな感じで、専門に勉強していることは、みんなばらばらなんです。「国語」って言っても、いろいろあるんですよ。



左から、秋山さん、榊さん、辻さん、堀内さん、飯寄さん

旅行や教育実習など、仲間との大切な経験をそのときを思い出しながら、明るく笑顔一杯におしゃべりしてくれました。みなさんも、山梨大学でいい思い出をたくさん作ってください。

Gram de Pasta

山梨県中巨摩郡昭和町西条2493-1-A棟
電話:055-267-7373
定休日:年中無休
営業時間:11:30~22:00
駐車場:あり



日本初! パスタの“量り売り”レストラン。



◎ピタリ賞グラム当て!

今ならパスタ100グラム、200グラム…と、100グラム単位でグラムピタリを出したら、次回から使える「半額チケット」がもらえます! チャレンジしましょう!

肉・魚・野菜からチーズ・納豆まで10種類以上のトッピング。

今回は、昨年10月に昭和町にオープンしたばかりの『Gram de Pasta』をとりあげさせていただきました。

この特徴といたら日本初の“量り売り”のレストランだということです。スパゲッティ、ペンネ、フィットチーネの3種類のパスタが1グラム=2円で、レギュラーサイズとハーフサイズが用意されており、5種類のソース、10種類以上のトッピングを好きなだけ、自分の食べたい分量だけ選べます。ハーフサイズを2つ頼んで2種類の味を楽しむのが人気です。サイドメニューも豊富で、ドリンクバーも用意されています。

お店もかわいくてオシャレな雰囲気です。とても美味しかったですよ。ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか?



トマト・クリーム・デミグラス・オイル等5種類のソース。ブレンド可です。



ハーフサイズだと2種類の味が楽しめます。サラダ150円、ドリンクバー230円。

コーヒーとランチの店 ひなた

山梨県甲府市朝日4丁目6-16
電話:055-252-9802
定休日:不定休
営業時間:11:00~22:30



手頃な価格で大満足の定食。 愛され続けて35年。



店内は手書きのメニューがびっしり。

今回の気になるお店では、梨大のすぐ近くで気軽に足を運べるお店「コーヒーとランチの店ひなた」を紹介したいと思います。

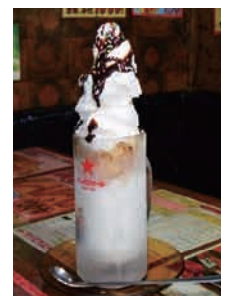
ひなたは1973年3月にオープンして今年で創業35周年になります。

この店のいいところはなんといっても手頃な価格でボリューム満点な定食が食べられるところです。

昼間は学生や会社員で溢れ活気に満ちています。メニューも豊富で店内には所狭しとメニューの張り紙がしてあり、色々な組み合わせも可能です。1kgハンバーグ(2,200円)やジョッキパフェ(600円)など驚きのメニューもあるので胃袋に自信のある人はぜひ挑戦してみてください。



50~60種類もあるという定食は600円から。150円~200円プラスで、おかずだけ2人前にすることができてとってもお得!



高さ30cm近くもあるジョッキパフェ。

平成20年度学年暦
(年間予定表)

事項	期 日 等
前期開始	4月1日(火)
入学式	4月3日(木)
ガイダンス等	4月2日(水)～4月10日(木)
前期授業開始	4月15日(火)
特別開講日	7月23日(水)、25日(金) 月曜日の振替日
特別開講日	7月24日(木) 火曜日の振替日
前期授業終了	7月25日(金)
補講期間	7月28日(月)～7月30日(水)
前期試験	7月31日(木)～8月6日(水)
夏季休業	8月7日(木)～9月24日(水)
秋季卒業式・修了式	9月29日(月)
前期終了	9月30日(火)
後期開始	10月1日(水)
開学記念日	10月1日(水)
秋季入学式	10月2日(木)
後期授業開始	10月3日(金)
大学祭(医学部キャンパス)	10月24日(金)～10月26日(日)
大学祭(甲府キャンパス)	10月31日(金)～11月2日(日)
冬季休業	12月23日(火)～1月4日(日)
特別開講日	1月27日(火) 金曜日の振替日
特別開講日	1月28日(水) 月曜日の振替日
後期授業終了	2月2日(月)
補講期間	1月29日(木)～30日(金)、2月3日(火)
後期試験	2月4日(水)～2月10日(火)
春季休業	2月11日(水)～3月31日(火) 各学部で定める
卒業式・修了式	3月19日(木) 予定
後期終了	3月31日(火)



春



夏



秋



冬

(注) 1. 特別開講日(振替日)とは、授業回数不足している曜日について、当該不足曜日の授業を振替えて行うものである。
2. 1月16日(金)は、大学入試センター試験準備のため休講とする。

入学金などの振込みにあたって
合格者・保護者の
皆様へ

入学金を振込む際には、本人確認書類をご用意ください!
(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)

- 本人確認手続に関する法令の改正(平成19年1月4日施行)により、金融機関において10万円を超える現金の振込みを行う場合には、本人確認書類の提示が必要となります。(ATMでは、10万円を超える現金の振込みができません。)
- 10万円を超える入学金などの現金振込みの際には、指定の振込用紙とともに、振込みの手続を行う方の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)をご用意のうえ、金融機関の窓口をご利用ください。

※本人確認書類の提示がない場合には、金融機関では、10万円を超える現金による入学金などの振込みができません。
※保護者の方などが、振込名義(受験生、入学生など)に代わって振込みの手続を行う場合には、金融機関では、振込みの目的(入学金などであること)をお尋ねすることがあります。
※詳しくは、金融庁ホームページ(<http://www.fsa.go.jp/policy/honninkakunin/>)及び振込みを依頼する金融機関でご確認ください。

編集後記

この号を皆さんが開くときは“啓蟄”(けいちつ)の頃でしょうか? ご存知のように“啓”は『ひらく』、“蟄”は『土の中の虫』の意で、文字通り地中で冬ごもりしていた虫が春の到来を感じ、地上へ這い出してくるという意味です。今年は3月5日がその日に当たります。
3月の学校は1年の締めくくりで、卒業式・修了式などの別れの季節です。また、同時に新年度への準備の期間でもあります。春4月に向けて、生命が輝きだすための胎動の時期ともいえます。
願わくは皆さんのこれから迎える新生活や新学期が、とりわけ『生き生きとした活力あふれる春』となりますように……。そして、2年目を向かえる「山梨大学広報誌Vine」を、これからもよろしくお願いたします。

広報誌専門委員会委員長 村松俊夫

表紙作品の紹介
タイトル
「DIRECTION 1」
秋元優典
教育人間科学部
生涯学習課程芸術運営コース4年

山梨大学広報[ヴァイン] March 2008 vol.4

発行者:山梨大学広報誌専門委員会
[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]
山梨大学総務部総務・広報課広報グループ
TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8024
E-Mail:koho@yamanashi.ac.jp
山梨大学ホームページ
<http://www.yamanashi.ac.jp/>

